

## 文系理系学部共通の アントレプレナー教育プログラム

樋原伸彦(ひばら・のぶひこ)

立命館大学経営学部(テクノロジー・マネジメント  
研究科兼務)准教授

京大VB・VC教育フォーラム(2008年10月18日)

1

## 立命館大学BKC(びわこ・くさつ・キャンパス)に おける文理4学部共通のプログラム

- 経営学部、経済学部、理工学部、情報理工学部の4学部から毎年合計100名前後がこのプログラムを受講。
- 2005年度に「現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)として採択されたことから、スタートし、2008年度で4年目を迎えている。
- 2008年4月に、BKCに新たな理系学部として、薬学部、生命科学部を設置。来年度以降、この新2学部のこのプログラムへの参加も予定されている。
- 各学部で1回生後期にこのプログラムへの募集をかけ、2回生前期からこのプログラムの受講がはじまる。

京大VB・VC教育フォーラム(2008年10月18日)

2

## 開講科目群及び履修方法

- すべての科目を18:00から19:30の6時限に Semester 開講。
- 16単位(8科目)を修了することで、このプログラムを修了。
- 科目群は、基礎、展開、実践、の三段階。
  1. アントレプレナー基礎科目群
  2. アントレプレナー展開科目群
  3. アントレプレナー実践科目群
- 修了要件の16単位のうち、8単位(4科目)は基礎科目群から、また、2単位(1科目)は実践科目群からの、履修が必修。

京大VB・VC教育フォーラム (2008年10月18日)

3

## 基礎科目

- アントレプレナー基礎科目群 ---- 5科目開講(主に2回生を対象)
  1. アントレプレナーシップ論(イノベーションと起業家精神)
  2. ベンチャービジネス論
  3. 事業計画論(ビジネスプラン)
  4. 資金計画論(起業ファイナンス)
  5. 生産システム論

京大VB・VC教育フォーラム (2008年10月18日)

4

## 展開科目

- **アントレプレナー展開科目群** ---- 4科目開講(3回生以上を対象)
  
- 1. **ビジネスインキュベーション**
- 2. **製品事業化システム論**
- 3. **知的財産戦略**
- 4. **イノベーション戦略論**

## 実践科目

- **アントレプレナー実践科目群** ---- 4科目開講(3回生以上を対象)
  
- 1. **アントレプレナー実践講座** – 自らのビジネスアイデアの実践を目指す講座。
- 2. **起業活動インターンシップ演習** -- 主に、BKCインキュベータ入居企業への長期(6ヶ月以上)のインターンシップ
- 3. **起業支援インターンシップ演習** -- BKCインキュベータのIM室での長期(6ヶ月以上)のインターンシップ
- 4. **産学協同アントレ起業活動インターンシップ演習** – 本プログラム協賛企業(主に中小企業)へのインターンシップ

## 履修イメージ

- 2回生前期:(基礎2科目受講)例えば、アントレプレナーシップ論、資金計画論。
- 2回生後期:(基礎2科目受講)例えば、事業計画論、生産システム論。
- 3回生前期:(展開2科目受講)例えば、ビジネスインキュベーション、知的財産戦略。
- 3回生後期:アントレプレナー実践講座を受講しつつ、BKCインキュベータでインターンシップを行う。

## キャンパス内での他の起業支援・施策

- **学生プレインキュベーション・ルーム** -- オリジナルなビジネスプランの実現を目指す学生グループに活動の拠点として場所を提供。
- **BKCインキュベータ**(中小基盤、立命館大学、滋賀県、草津市がキャンパス内で共同運営)-- インターンシップの機会の提供、プレインキュベーション・ルームからのステップアップの機会。
- **学生起業家支援奨励金制度** -- ビジネス・アイデアの実現を目指す学生に奨学金を提供。
- **学生ベンチャーコンテスト**(年1回秋に開催)
- **Entrepreneurship Education Forum**(年2回程度開催)

## 課題

.....山積。

1. Exitとして、起業家が出なくていいのか？（逆に、このプログラム参加者の就職はかなり好調。）
2. 学部生のビジネス・アイデアは消費者目線のものが多い。テクノロジー絡みのアイデアは理系の学生といえども、敷居が高い模様。文理融合？
3. 理系学部生は学部の本業の授業が忙しく、各期2科目をこのプログラムで受講するのはかなり負担。

## 課題(続き)

4. 既存企業での短期のインターンシップの効果は？
5. 総体的かつマクロ的には、学生の起業への興味は薄れつつある？
6. 地域の他の主体との連携、及び、地域へのこのプログラム修了生の供給は十分か？
7. 学部間での調整の難しさ。理系学部にアントレプレナーシップを専門とする教員はいない.....  
など、など、など。

## 展望1

このプログラム及び他の施策が提供しようとしているものは、

- 知識
- 場所
- Motivations
- 他の学生、教員、大学・地域・企業関係者との接点
- カネ

.....What is missing? ヒト、メンター、アドバイザー？

## 展望2

1. 100名程度の修了生が毎年蓄積されてきており、現状でも400名程度が修了している。今後のネットワーク力、地域における修了生のプレゼンス、への期待。
2. 大学院教育(特にMOT、MBA)へ繋げることで、起業が現実化する期待:学部卒業直後の進学、あるいは、実務経験後の社会人としての進学、が本格的な起業に直接つながる期待。
3. 地域(クラスター)への人材供給源としての期待。